



平成 22 年 10 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社テークスグループ
(旧社名 株式会社東京衡機製造所)
代表者名 代表取締役社長 山本 勝三
(コード番号 7719 東証第2部)
問合せ先 取締役副社長 平岡 昭一
(TEL. 042-780-1650)

特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

平成 23 年 2 月期第 2 四半期連結会計期間において、下記のとおり特別損失を計上しますのでお知らせいたします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 22 年 7 月 15 日に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

- (1)医療機器事業の業務提携先について、当該会社の代理人弁護士よりの債務整理を受任した旨および自己破産申立予定である旨の通知を受けましたが、修正後発事象としての判断から出資額に対する投資有価証券評価損 15 百万円(連結・個別)、試作品製作等に係る債権に対する貸倒引当金繰入額 4 百万円(連結・個別)を特別損失として計上いたします。
- (2)平成 22 年 2 月期において、デジタル事業における取引先からのサーバー使用料代金の回収遅れに伴い、当該売掛金の一部に対する貸倒引当金を計上いたしました。期間経過を踏まえた見直しにより当第 2 四半期連結会計期間で貸倒引当金繰入額 9 百万円(連結・個別)を特別損失として追加計上いたします。

2. 業績予想数値の修正

(1)平成 23 年 2 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想数値の修正(平成 22 年 3 月 1 日～平成 22 年 8 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益
前回発表予想(A)	1,907	△152	△194	△202	円 銭 △2 83
今回修正予想(B)	1,884	△189	△226	△322	円 銭 △4 52
増減額(B-A)	△23	△37	△32	△120	—
増減率(%)	△1.2	—	—	—	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 22 年 2 月期第 2 四半期)	2,432	31	△17	△73	円 銭 △1 03

(2)平成23年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	4,155	△111	△176	5	円 銭 0 07
今回修正予想(B)	4,327	△162	△220	16	円 銭 0 22
増減額(B-A)	172	△51	△44	11	—
増減率(%)	4.1	—	—	220.0	—
(ご参考)前年同期実績 (平成22年2月期)	4,340	△157	△231	△460	円 銭 △6 45

(3)平成23年2月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	951	△127	△134	△104	円 銭 △1 46
今回修正予想(B)	927	△114	△119	△172	円 銭 △2 41
増減額(B-A)	△24	13	15	△68	—
増減率(%)	△2.5	—	—	—	—
(ご参考)前年同期実績 (平成22年2月期第2四半期)	1,277	△39	△55	△72	円 銭 △1 02

(4)平成23年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	2,021	△191	△188	△52	円 銭 △0 73
今回修正予想(B)	2,225	△149	△145	△245	円 銭 △3 44
増減額(B-A)	204	42	43	△193	—
増減率(%)	10.0	—	—	—	—
(ご参考)前年同期実績 (平成22年2月期)	2,174	△198	△217	△208	円 銭 △2 92

(5)修正の理由

平成23年2月期第2四半期連結累計期間につきましては、中国拠点の業績は底打ちし、試験機事業での受注環境も改善の兆しが見え始めましたが、試験機売上高においては第3四半期以降にずれ込むことや、ゆるみ止めナット事業も営業環境に影響され、前回予想に対して若干の未達となる見込であります。損益面では試験機売上高の未達とゆるみ止めナットの製造原価増大、中国子会社の工場の公的収用に伴う特別利益の計上の引渡時点となる第3四半期以降へのずれ込み、また、第三者委員会の設置や債権回収に係る訴訟提起に伴う費用の発生ならびに上記1.項の特別損失の発生などにより悪化が見込まれることから業績予想を修正いたします。

平成23年2月通期連結業績予想につきましては、下期の経済情勢など不透明な面があるものの、主に第2四半期連結累計期間の状況を踏まえ修正いたします。

以上